

令和5年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
「CBRNE テロリズム等に係る健康危機管理体制の国際動向の把握及び国内体制強化に向けた研究」

分担研究報告書

「CBRNE テロ対策医療・救護支援ツール(MED-ACT)の改訂に関する研究」

研究分担者 高橋 礼子

(愛知医科大学 災害医療研究センター 講師)

研究要旨

【目的】本研究は、先行研究にて作成した『CBRNE テロ対策医療・救護支援ツール(MED-ACT)』の改訂を行い、最新のCBRNEテロ対応知見を集約すると共に、一般医療従事者向けにその知見を継続的に発信していくことを目的とする。

【方法】CBRNE テロに関する課題点を踏まえ、MED-ACT の各分野掲載資料のブラッシュアップを行うと共に、MED-ACT 改訂版についてモニター評価等を行い、利便性・有用性の評価と最適化を図る。今年度は各分担研究者からの知見提供及び専門家ネットワーク内での事例検討等を踏まえ、抽出課題の更なる分析を行うと同時に、MED-ACT 改訂に向けた具体的な検討(資料収集・掲載、機能追加等)を行う。

【結果・考察】今年度は、銃創・爆傷患者診療指針(Ver.2)の掲載を行った。来年度は、利便性向上(検索機能)に向けて、MED-ACT 各資料内の頻出単語のタグ付け・データベース化を行い、その組み合わせでの検索機能の実装を目指す。

【研究協力者】

小森賢一郎(国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

ピック東京大会等に向けた包括的なCBRNEテロ対応能力構築のための研究(研究代表者:小井土雄一)内の「CBRNE テロ発生時の傷病者対応アウトリーチツール作成に関する研究(高橋礼子 研究分担者)」で作成した『CBRNE テロ対策医療・救護支援ツール(MED-ACT)』の改訂を行い、最新のCBRNEテロ対応知見を集約すると共に、一般医療従事者向けにその知見を継続的に発信していくことを目的とする。

A. 研究目的

東日本大震災以降、危機における国の役割の強化が課題となっている。わが国は、絶え間のない国際的なテロ活動などの国際状況を背景に、CBRNE テロの脅威もある。また、新型コロナウイルス感染症等の影響や健康危機管理への意識の高まりとともに、CBRNE テロに関する国際動向を適確に把握し国内施策に反映することが重要な課題である。更に、CBRNE テロで使用される危険物質についての情報収集/共有・分析・対応検討が必要である。

本研究では、平成 31 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)2020 年オリンピック・パラリン

B. 研究方法

CBRNE テロに関する国内外の最新の科学的・政策的知見の情報収集・分析から抽出された課題・改善点を踏まえ、MED-ACT の各分野掲載資料のブラッシュアップを行うと共に、MED-ACT 改訂版についてユーザーによるモニター評価等を行い、利便性・有用性の評価と

最適化を図る。具体的な手順としては以下に示す通りである。(太字部分を今年度実施)

1. 主に初年度に現時点での MED-ACT の課題抽出・分析を行う
2. **各分担研究者からの知見提供及び専門家ネットワーク内での事例検討等を踏まえ、抽出課題の更なる分析を行うと同時に、MED-ACT 改訂に向けた具体的な検討(資料収集・掲載、機能追加等)を行う**
3. 3年目に、各分野掲載資料を更にブラッシュアップすると共に、モニター評価を踏まえてコンテンツの更なる改訂を検討する

(倫理面への配慮)

本研究においては特定の個人、実験動物などを対象とした研究は行わないため倫理的問題を生じることは少ないと考えられる。

C. 研究結果

- **銃創・爆傷患者診療指針(Ver.2)の掲載**
http://2020ac.com/documents/ac/04/2/1/2020AC_JAST_gun02_2021.11.pdf

令和3年11月に公開された上記指針について、協力者に依頼して資料をWebページでの閲覧に適した形に変換した上で、

- 各種フローチャートの各ステップから個別項目に移動できるよう紐付け
- 目次から個別項目に移動できるよう紐付け
- 単語から説明ページに移動できるよう紐付け
- 引用文献の掲載元等へ移動できるようリンク先の確認・紐付け

を行い、令和6年2月公開とした。

D. 考察

今年度は、銃創・爆傷患者診療指針(Ver.2)

の新規掲載を行ったが、他の資料においても今後改訂等が行われる可能性はあるため、各分担研究者より最新の状況を引き続き確認すると共に、既存の掲載資料以外にも一般公開可能なマニュアル・ガイドライン・対応指針等が無いかについても確認を行う。但し、MED-ACT を掲載している H-CRISIS(国立保健医療科学院所管)が、デジタル庁発足に伴い、予算を前年度6月までに申請することが必要になったため、今後の新規資料掲載については前年度6月までに掲載時の仕様含めて調整することとなった。(このため、令和6年度の新規資料掲載は困難であり、令和7年度以降に持ち越される)

また利便性向上に向けた検討については、現在のMED-ACTの検索機能は、1単語のみでの検索しか出来ず、また検索結果が資料単位で表示されるなど、使い勝手が悪いという課題があった。研究協力者の小森氏との検討で、現在H-CRISIS機能強化の一環として、サイト全体で検索機能の更新中であり、その1つとしてMED-ACTについても対応可能との事であった。具体的には、頻出単語にタグ付けを行い、その組み合わせで検索が可能となる予定のため、令和6年度前半にはMED-ACT各資料での頻出単語のデータベースを構築し、年度後半にMED-ACTへの実装を目指すこととした。

E. 結論

今年度は、銃創・爆傷患者診療指針(Ver.2)の掲載を行った。来年度は、利便性向上(検索機能)に向けて、MED-ACT各資料内の頻出単語のタグ付け・データベース化を行い、その組み合わせでの検索機能の実装を目指す。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

○高橋礼子 他.近年の災害におけるDMAT活動の変遷と高齢者施設対応【シンポジウム】第65回日本老年医学会学術集会(2024年6月17日(横浜))

○高橋礼子 他. 病院避難の見積もりと回避～事前リストを用いたシミュレーションと実際の対応～【パネルディスカッション】第29回日本災害医学会総会・学術集会(2024年2月22日(京都))

○高橋礼子 他. 健康危機管理分野における卒前・卒後教育とキャリアパス展望～6団体合同での『健康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会』の設立～【口演】第29回日本災害医学会総会・学術集会(2024年2月22日(京都))

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得:なし

2. 実用新案登録 :なし

3.その他 :なし